



学校だより

墨田区立第三吾孺小学校

校長 川中子登志雄

令和6年7月1日

7月号



「できるか不安だから、やらない」

副校長 白石 哲也



「できるか不安だから、やらない」

以前、副校長として対応していて、よく聞いた言葉です。学級で、学年で新しいことに取り組もうとするときに、ときどき、この「できるか不安」と訴える子供がいます。同じように感じている子供は多く、「何か新しいことに取り組む」＝「不安」となり、体が動かなくなるようです。できなければ恥ずかしいと、自分自身に苦しさを感じてしまったり、笑われるかもしれない考えたり、怒られるのではないかと恐怖の気持ちをもったりするのです。「できるか不安」という気持ちは、最終のゴールに描く自分の姿をイメージできず、前に進

むことに抵抗を感じている状態です。「主体性の育成」を掲げる本校としては、このような子供たちを何とか少なくしたいと考えています。

先日、副校長会の研修で衝撃的な話を聞きました。それは「成功体験を積み重ねること」を大切にしすぎると子供たちは失敗を控えるようになる、つまり、「できるか不安だから、やらない」子が増えていくということです。私は、成功体験を積ませることこそ、自己肯定感が高まり更なる高みへ成長していこうとする意欲を高めることだと思っていました。子供は、周りの大人の思いを敏感に汲み取り頑張る姿を見せてくれますが、成功する姿のみに周囲の大人が価値付けることをしてしまうと、失敗する姿を見せたくない、また、失敗するところを見せることで失望させてしまうのではないかと考えてしまうそうです。大事なことは、成功を積み重ねさせるのではなく、成功しようとするため（できるようにするため）に努力すること、がんばることであり、成功することはそれほど重要ではないということです。むしろ、失敗を積み重ねること、そこから学ぶ力を得ることの方が大事なのだと教わりました。周囲の大人が気を付けることは、成功（結果）のみに目を向けるのではなく、子供の失敗をゆるすこと、また、失敗を支えることだそうです。

ここ最近、この「できるか不安」で相談にくる件数が、少なくなってきました。教員が子供たちに見通しをもたせるなどの工夫をしたり、一人一人の頑張りや進歩を見取り、価値付けたりするようになってきたからなのかと考えています。これまで教員が主導していた「授業」を、子供たち自身が主体的に行う「学習時間」に変えることに、全校をあげて取り組むようになったことで、子供たちが新たに挑戦する姿勢が変わってきたのではないのでしょうか。

ところで話は変わりますが、先日、行われた学校公開には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、授業の様子を見ていただきました。お忙しい中、ありがとうございます。また、終了後のアンケートにもたくさんの方にご協力いただき、保護者の皆様が「自分の学校に通っている学校を良くしよう」と考えてくださっているということを身にしみて感じました。寄せられたご意見の中から、いくつかご紹介します。

- ・子供たちの様子を見ることができて良かった。
- ・子供たちがとても楽しそうにのびのびとじていて良かった。
- ・子供の成長を感じた。
- ・引き渡しはスムーズであった。
- ・先生の言葉に耳をかたむけていて素晴らしいなと感じた。
- ・緊張感など感じられ、先生の声がけにも集中して聞いていて素晴らしいなと感じた。
- ・それぞれのペースで進められている印象を受けました。
- ・先生も全て教えるのではなく、解き方のヒントを伝えていました。
- ・全員がきちんと学習できていて良かったです。
- ・先生のご苦勞をお察ししました。いつもありがとうございます。

また、このような意見も・・・

- ・ルールを守らない保護者がいて残念。
- ・保護者がざわざわして話がかたかたで残念。
- ・授業終了から避難開始まで時間がかかりすぎて残念。
- ・書道は正しい姿勢や精神面も養う科目と思います。
- ・本人（子供）も自覚をもって全ての事に取り組んでもらいたい。



廊下まであふれる参観者(6・22)

みなさんから頂いた感想を読み、特徴的だったのは「子供が楽しそう」というワードが非常に多く書かれていたことです。実に寄せられたご意見の半数以上に書かれていました。また、明らかに「子供たちが～」という「主語」が増えていました。子供たちが、楽しそうに学んでいる姿を見て、保護者の皆様が「安心」していることが伝わってきました。ありがとうございます。

「子供が主語となる学校」に向けて、保護者の皆様のご理解が得られていることが、とてもうれしいです。一步一步ゆっくりではありますが、改革が進んでいることが感じられます。これからも、「教員中心の斉授業」⇒「子供たちが主語になる学習時間」への転換を図り、子供たちの笑顔が溢れる学校にしていきたいと思ひます。

〈お知らせ〉

サマースクール

今年もサマースクールを開催することになりました。少人数でじっくりと学習に取り組むことができる良い機会です。4月から7月までの算数の学習の復習を中心に行います。プールの時間とは重ならないように設定してありますので、ぜひ参加させてください。

○日 時：7月22日(月)～7月26日(金)のうち、各学年1日を設定。

○時 間：

22日 (月)	23日 (火)	24日 (水)	25日 (木)	26日 (金)
10:15～11:15				
4年	5・6年	1年	2年	3年

○場 所：各学年1組教室

夏季水泳教室

今年度も、学年ごとに夏季休業中の水泳を実施いたします。**参加申込書(夏季水泳のお知らせ)**を7月1日に配布いたしますので、**参加・不参加に関わらずご提出ください。**

日によって参加学年と時間が変わりますので、お知らせをよくご確認の上、登校させてください。中止の場合は、COCOOメールと正門・西門の張り紙でお知らせします。また、受付時間に間に合わなかったり、忘れ物やプールカードに不備があったりする場合はプールサイドで見学となりますので、ご承知おきください。

○日 時：7月22日（月）～7月26日（金）
（上記の期間に各学年1回ずつの実施となります。）

○時 間：受付8時30分～8時40分 指導8時45分～9時45分



キャリア教育特別授業の講師募集

9月28日（土）2校時、今年で7回目となるキャリア教育特別授業を実施する予定です。5・6年生の総合的な学習の時間に、様々な職業の方をゲストティーチャーとしてお招きし、子供たちに仕事についてのお話や、社会人としての心構えなどについてお話をいただきたいと思っております。

本日お知らせを配信させていただきますので、ぜひ講師としてのご参加のご検討をお願いいたします。

【これまでのご参加いただいた皆様のご職業】

<https://www.sumida.ed.jp/sanazumasho/shokai/kanendo/careereducation2020.html>

「建設業（矢島鉄筋工業）」「料理人」「警察官」「消防隊」「臨床開発モニター」「フリーランスライター」
「営業職」「内装事業」「農業」「保育士」「幼稚園教諭」「イラストレーター」など

【今年度、ぜひお話を聞きたい職業】

医師、美容師、理髪師、職人（ものづくり）、テレビ局関係、コンピュータ SE、YouTuber、IT 関係、運輸業、作家、芸術家、スポーツトレーナーなど

〈学年の様子〉

5年生「 那須甲子移動教室 」

6月12日～14日、那須甲子移動教室へ行ってきました。

《1日目》 那須甲子青少年自然の家で入所式を行いました。その後は、活動班での園内オリエンテーリング、夜はキャンドルファイヤーを行い、ゲームやダンスをして楽しみました。キャンドルに火を灯し、みんなで歌った『トゥモロー』はすてきでした。

《2日目》 沢歩きハイキングでは、山道に苦戦しましたが、友達と励まし合いながら全員歩き切りました。自然に触れ、上流の川の冷たさに驚きました。だるまの絵付けでは、個性豊かなだるまができて上がりました。夜のナイトハイクでは、ランタンを持って見晴らし広場まで歩き、見上げた星空の美しさに感嘆の声が上がりました。

《3日目》 那須どうぶつ王国に行き、マヌルネコやジャガーなど珍しい動物を見ることができました。自分でお土産を選んで買い物をするのも楽しかったようです。

三日間を通して、友達と協力し、先の予定を見通して自分達で考え行動する姿が見られました。自分たちでさらにより良くしていこうと努力する姿に頼もしさを感じました。

那須甲子移動教室を行うにあたり、保護者の皆様にはたくさんご協力いただきました。ありがとうございました。今後も、子供たちの成長を温かく見守っていただきたいと思います。



〈PTA・保護者〉

5年ぶりの給食試食会

6年生が日光移動学習教室に行っていた6月27日（木）、PTAと学校の共催で、給食試食会が行われました。この試食会は、コロナ禍の前までは毎年行われていましたが、実に5年ぶりの開催となりました。提供できる給食の数に限りがあるため、応募者から抽選で選ばれた37名の保護者の皆さんが試食を行いました。当日は「夏野菜のドライカレーライス、じゃがいものハニーサラダ、冷凍ミカン、牛乳」という、子供たちにも人気のメニューを味わっていただきました。

今後は、毎年実施できればと考えています。今回参加できなかった皆様も、来年度はぜひご参加ください。

【参加された保護者の皆様の感想より】

- ・いつも子供たちのために様々な工夫をして給食を作ってくださいありがとうございます。栄養士の先生のお話を伺って、食育・安全面・季節感・食べてもらうにはどうしたら良いか…など本当にきめ細やかで丁寧な配慮がされていることを実感しました。子供たちも幸せだと思います。
- ・参加できて良かったです。全て手作りされていること、初めて知り驚きました。

